

「ママ」

第2回 KYOTO KAKIMOTO 恋文大賞

手紙(文章)部門 <高校生の部>

この家に来てから十五年。ぼくはもうよぼよぼのおじいちゃんになっちゃったよ。おじいちゃんになると、走るのが辛くなったり、一日中眠くなったりするんだ。

おばあちゃんがよく「年はとりたくないもんだねえ」と言ってる意味が分かった気がするよ。

最近ぼくはごろんと床に寝転がって昔のことを思い出してるんだ。

ママはぼくがこの家に来た時のこと、覚えてる？

初めて見る物や環境に慣れなくて、恐くて、

一歩も動けなかったぼくをやさしくだっしめてくれたよね。

あの時のママの温かい手、今でも覚えているよ。

家にもだいぶ慣れてきた頃、ママの姪子がお泊まりに来たこともあったよね。

その時ぼくはお友達が増えるのが嬉しくて、

ついついはしゃぎすぎてその子を泣かしちゃったんだっけな。

嫌われちゃったと思ってたけど、しばらくして笑顔でぼくをいっぱいいっばいまでてくれた。

数日後お家に帰っちゃったけど、あの子はぼくの初めてできた人のお友達だった。

それから、二年がたった頃、パパが病気でいきなり死んじゃって、

ママはぼくを抱きしめながらたくさん泣いたね。

ぼくはこの時、これからはぼくがママを守るって決めたんだ。

それから数年、楽しいことや嬉しいこと、悲しいことだつてあった。

そしてなにより色んな人からたくさん幸せをもらった。

でもぼくはもうすぐパパのいるお空へいかなくちゃいけない。

ママと、お別れしなきゃいけない。だから、お別れする前にママに伝えたいことがあるんだ。

ぼくは犬だから人の言葉はしゃべれないけど、ママのこと大大好きだよ。

今まで本当にありがとう。

ぼくはとっても幸せでした。

お別れしても、ぼくのことわすれないでね。

それじゃあ……さよなら。